

第4学年1組 図画工作科学習指導案

展開場所 図工室

1 題材名 発見！森林たんけん家（立体）

2 題材について

題材名にある「森」という言葉からは様々な木々が生き茂り、広大な自然が広がっているようなイメージを持つことができる。また、「たんけん家」という言葉からは特別な場所や物を発見するために未知なる世界を進む人の姿を連想させ、新たな発見や出会いが生まれる。様々な自然材との出会いの中で形や色の組み合わせなど様々な発見をし、自分の思いを表現する喜びを感じさせたい。

「森の秘密を発見しよう。」というテーマを持つことで、造形的な創造活動を楽しもうとする意欲を湧き立たせ、活動に没頭することができるようにしたいと思い題材名を設定した。本題材では、児童が思い思いに材料と向き合いながら手や体全体を十分に働かせ、感じたことや想像したことに合わせて表現を工夫するという活動を通して、材料の使い方や組み合わせ方を考えながら立体に表す学習を展開していく。

本題材は、新学習指導要領第3学年及び第4学年の内容「A表現」（1）イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。」、（2）イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。」「B鑑賞」（1）ア、共通事項ア、イを受けて設定した。中学年の児童は、新しい題材に出会い、新しい表現の方法やまだ使ったことのない用具などに触れたとき、早くやってみたい、もっと他のことにも取り組んでみたいと旺盛な興味を示す。材料に対しても同様に、木材などを使った経験がない難しいと思うものにも進んで取り組もうとし、また、完成のイメージに対して計画的に活動を進めようとするのもこの時期の児童の特徴と言える。本題材では、木の材料を組み合わせでつくりたいもの考え、立体に表すことから、木の質感や香り、曲線や太さなどの形の「木」が持つ特徴やドングリや紐といった他の材料の特徴を感じながら、手や体全体を十分に働かせ、材料と向き合うことは自分の思いを表現する上で重要な意味を持つと考える。

材料には木や枝などの自然材、板材や端材などの人工材、ドングリや松ぼっくり、紐などの身近材など様々な種類のものを豊富に用意し、児童が自分の表したいもののイメージが持てるような場の設定をしていく。様々な材料を使って見立て遊びを行う時間を設けることで、材料（素材）の組み合わせによる発見や出会いをもとに自分のつくりたいもの考えていけるようにしたい。また、児童たちの「森林」と「たんけん家」についてのイメージを共有するためにイメージマップを活用する。イメージに広がりを持たせ、児童が思い思いに材料を選び、製作活動を進めていく中で自然と交流し、互いの表現の工夫を感じたり、学習の最後に出来上がった作品のよさを伝え合ったりすることで満足感と達成感を味わわせ、自分の思いを表現することへの興味・関心を高めていきたい。

児童はこれまで、木材（自然木・人工木）を扱う学習「サクサク小刀名人」「トントンドンくぎうち名人」において小刀や金づちなどの木工用具を扱い、木を削ったりする感触や釘を調子よく

打つ心地よさを味わっている。両題材において、初めに思い描いたイメージに近づけようと製作することを経験しているが、木材を組み合わせる活動をしながらか偶然にできた形を楽しんだり、組み合わせ方によって様々な形が生まれることに気付いたり表現している過程で新しい発想が生まれ新たな試みをしようとする経験はあまりしてこなかった。そのため、表したいことを思ったように表現できず、創作意欲が低下すると共に何をどのようにすればよいのか分からず手が止まってしまう児童が出てくると考えられる。そこで、イメージを広げていけるように見立て遊びやイメージマップの活用をし、「森林」と「たんけん家」についてまとめ、たくさんの視点から材料と向き合えるようにする。五感を働かせて、材料（素材）と触れ合える時間をたくさん設けることで、イメージの構築に役立てていきたい。学習の導入や製作過程では、教師の見本を基にたくさんの材料を使うことによってイメージに近づけることや見方を変えることで新しい発見があることを示すことで、児童の楽しい思いがあふれるものにしていきたい。また、「森の夢工房」と称し、教室内に教師作品の見本や木々の組み合わせ方などの見本、材料を置き、児童が間近で見たり、手に触れたりできるような環境や見立て遊びで組み合わせた素材の掲示物などを作ることで、児童の関心意欲を高め、創作意欲の向上につなげていきたい。

3 題材の目標

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○手引きのこぎりや金づちと釘を適切に扱う。 ○自分の表したいものを材料の形や色を生かして、組み合わせ方や表し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○木や枝、木の実などの様々な材料に触れ、形や色を基につくりたい形を考える。 ○材料の形や色などの特徴を生かした表現のよさや面白さを感じたり、自分の作品に生かしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○手や体全体を十分に働かせ、木や他の材料を組み合わせ、組み合わせからできる形や色を味わいながら楽しんでつくる。

4 指導計画

- 手引きのこぎりや小刀、金づちの使い方を確認し様々な材料に触れ、表したいもののイメージに合うように多様な扱いを試み表し方を工夫し、材料を加工する。 _____ 2
- 手を十分に働かせて様々な材料に触れ、材料を組み合わせで立体に表すことに興味をもつ。
- 見本の作品を見て、どのような材料が使われているのか、感じたことや思ったことを発表する _____ 1
- 材料の特徴を基に、形や色などを生かして組み合わせ方や表し方を考え、自分の表したいもののイメージを広げながらつくる。 _____ (本時4/6) 6
- 互いの作品を鑑賞し、材料の特徴を基に作者の思いや考えの表現のよさや面白さを味わう。 _____ 1

5 材料と用具

材料	用具
木、枝、流木、石 など (自然材)	手引きのこぎり、小刀、釘、金づち、軍手
板材、端材、角材、棒材 など (人工材)	木工用接着剤、ホットボンド、合成ゴム系の化学接

麻ひも、麻布、ビー玉、ドングリ、松ぼっくり、木の 実、落ち葉、ゴム、ビーズ など（身近材）	着剤
--	----

6 本時の指導

(1) 目標

- 自分の表したいものを材料の形や色を生かして組み合わせ方や表し方を工夫することができる。
(知識・技能)
- 木や枝、木の实などの様々な材料に触れ、形や色を基につくりたい形を考えることができる。
(思考・判断・表現)

(2) 展開 (7 / 10)

学習活動と内容	教師の支援と評価 (◆)	資料
<p>1 前時までの学習を振り返り本時のめあてをつかむ。</p> <p>○友達や自分の作品の良いところや工夫したところ（森のひみつ）を紹介する。</p> <p>・○○さんはいろいろな材料を使っているよ。</p> <p>・細い枝を組み合わせ、梯子をつくっていたよ。</p> <p>・ドングリや松ぼっくりを使うと雰囲気が変わって見えたよ。</p> <p>○場の設定の確認を行う。 (材料置き場、手引きのこぎりの場ホットボンドの場、)</p>	<p>○前時での作品作りに触れ、本時のめあてと活動の進め方を確認する。</p> <p>○安全面に留意するように場の設定や動き方を確認する。</p> <p>○金づちと手引きのこぎりを使用する際は軍手を着用と滑り止めのため雑巾を使用するように助言をする。</p> <p>○材料の形や色に焦点を当てた作品作りになるように、組み合わせ方を紹介しながら本時の活動への意欲がもてるようにする。</p>	<p>・振り返りカード</p> <p>・掲示物</p> <p>1 材料の特徴</p> <p>2 材料の加工の仕方</p> <p>3 道具の扱い方</p> <p>・見本作品</p> <p>・実物投影機</p> <p>・大型モニター</p>
発見！発信！発てん！森のひみつ大そうさく		
<p>2 自分の表したいもののイメージに合うように作品をつくる。</p> <p>○材料を何かに見立ててイメージを膨らませていく。</p> <p>・輪切りにした枝をずらして置いとくと階段に見えたり、梯子に見えたりするよ。</p> <p>○自分のイメージに合うように材料を組み合わせたり、切ったり、削ったりして加工をする。</p> <p>・ひもや枝を使うとブランコや梯子も</p>	<p>○いろいろな角度から材料や作品を見ることで、新しい発見ができることを伝え、イメージが広がるようにする。</p> <p>○接合の仕方などで戸惑っている児童には材料や技術的な助言をし、イメージに近付けるように支援する。</p> <p>○手引きのこぎりの扱い方について戸惑っている児童には、掲示物を用い</p>	<p>・自然材</p> <p>・人工材</p> <p>・身近材</p> <p>・手引きのこぎり</p> <p>・木工用接着剤</p> <p>・化学接着剤</p> <p>・ホットボンド</p> <p>・軍手</p> <p>・保冷バッグ</p> <p>・保冷剤</p>

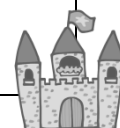
<p>作れそうだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枝を組み合わせると、橋のようなものができそうだな。  <p>○友達と作品を見せ合い、互いにアドバイスをしたり、工夫を参考にしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここから見ると、木の洞窟のように見えて面白いね。 ・木と枝の組み合わせがアスレチックみたいで面白いな。 ・ひもと枝の使い方がよかったから、わたしもやってみよう。 ・枝の曲がっている部分を使って、カタツムリの殻にしたんだね。  <p>3 できた作品を全体で鑑賞する。</p> <p>○今回の活動を通して、友達や自分の作品のさらに工夫が見られ、よくなったところを紹介する。</p> <p>○見る角度を変えることで新たに発見したことなどを紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枝の形や木の色、長さや太さにも注目して作ったので、自慢の秘密基地ができた。 ・枝の曲線を生かして作品をつくらせている友達がいたので、参考にしたいと思いました。 <p>4 次時の活動について確認する。</p>	<p>て刃の向きや傾き、力加減など技術的な助言をする。</p> <p>○友達とお互いの作品の良いところを参考にして工夫していくように言葉をかける。</p> <p>◆自分の表したいものを材料の形や色を生かして組み合わせ方や表し方を工夫することができる。 (知識・理解)</p> <p>◆様々な材料に触れ、形や色を基にくりたい形を考えている。 (思考・判断・表現)</p> <p>○自分の作品がどのようによくなったのかを発表し、達成感がもてるようにする。</p> <p>○友達作品を見て、それぞれの作品のよさを認め合えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細い枝で作った梯子がいいね。 ・枝を曲げて使っているところが面白いな。 <p>○次時の活動について知らせることで、見通しがもてるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンカチ ・雑巾
---	---	--

発見！森林たんけん家



名前

日付	学習活動	振り返り (感想・発見・友達の良いところ)
	<p>○手引きのこぎりや小刀、金づちの使い方を確認しよう。</p> <p>○道具を使って、自分のイメージ合わせて材料を加工してみよう。</p>	
	<p>○見本の作品を見たり、木や枝などの材料を組み合わせたりにして、思ったことや感じたことを話し合おう。</p> <p>(形や色、組み合わせに注目しよう！)</p>	
	<p>○自分のつくりたい「森の秘密」を考えて、いろいろな材料を組み合わせてみよう。</p>	
	<p>○自分のつくりたい「森の秘密」のイメージに合わせて、材料を加工したり、組み合わせたりして「森の秘密」をつくろう。</p>	
	<p>○友達の作品や見本の作品などを参考に、自分の表したいもののイメージを広げ、自分だけの「森の秘密」をつくろう。</p>	
	<p>○友達と作品を見せ合ったり、アドバイスをし合ったりしてイメージを広げ、自分の表したい「森の秘密」を完成させよう。</p>	
	<p>○友達と作品を見せ合い、材料の組み合わせ方の工夫や形や色の工夫について、表現の面白さを味わい、よさを感じながら伝え合おう。</p>	



【場の設定】

